

# 「火の用心だより」

臨時号

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 市内で放火事案が急増！

7月と8月において、札幌市内では放火による火災が5件発生しております。敷地内の物や物置、公園内の切り株などに何者かが火源を用いて放火したものであり、いずれも他人の生命、身体及び財産を脅かす極めて悪質なものです。

〈 放火発生状況（疑いも含む） 〉 ※8月26日現在

1	白石区	自宅敷地内の物置が燃えたもの
2	東 区	共同住宅敷地内の段ボールが燃えたもの
3	中央区	公園内の切り株が燃えたもの
4	清田区	物品販売店舗内の紙製品と壁が燃えたもの
5	白石区	公園内のコンパネなどが燃えたもの
6	白石区	共同住宅が燃えたもの



※実際に放火された画像  
(左表とは関係ありません)

## 《 放火を防ぐためのチェックポイント 》

- ☐ 家の周りや、共同住宅などの共用部には燃えやすいものを置かない。
- ☐ 物置や車庫の施錠を徹底する。
- ☐ 夜間、人目のつかなくなる場所には、照明等を設置する。
- ☐ 「ごみ」は決められた日の朝に出して、放火されない環境作る。
- ☐ 人が通ると光る人感センサーライトなどの機器を敷地内に設置する。

こんなところを狙っている  
放火されやすいポイント

収集日以外に  
出されたごみ

たまっている  
新聞や郵便物

鍵のかかって  
いない物置

放置されたごみ



# 火災のない安全・安心な市民生活を送るためには

火災を未然に防止すること、火災が実際に発生してしまった場合でも、その被害を軽減することは、市民の皆さんが安全・安心な生活を過ごすうえでとても重要です。

札幌市火災予防条例第2章には「市民が主体的に行動するための基本的事項」が定められており、これは、市民の皆さんが日々の生活の中でチェックする、火災予防の「指標」となるもので、火災予防におけるリスク管理のひとつとも言えます。

その中でも、札幌市火災予防条例第2条の2は、放火防止に向けた環境づくりについて明記されており、これらを実践していただくことが、放火を防ぐことに繋がりますので、ぜひ取り組んでみてください。

## 札幌市火災予防条例（一部抜粋）

### 第2章「市民が主体的に行動するための基本的事項」

#### 第2条の2（放火防止に向けた環境づくり）

市民は、放火されにくい環境をつくるため、次に掲げる事項の実施に努めるものとする。

- (1) 建物周辺の可燃物を整理し、外部から建物内への侵入を防止する等の措置を講ずること。
- (2) 地域において相互に情報を交換し、必要に応じて周辺を巡回する等の協力をし合うこと。

もし、敷地内や家の周辺で臭い、煙等の異常を感じたら、すぐに119番通報してください。また、人感センサーなど、防犯機器等を設置することも、放火されにくい環境をつくることに繋がりますよ。



#### 市民が主役の火災予防

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| ① 火災予防行事・活動に参加しましょう     | ④ 防災品を使用しましょう       |
| ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう | ⑤ 放火されない環境をつくりましょう  |
| ③ 消火器などの防災機器を備えましょう     | ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう |

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

**SAPPORO**